

駐車場料金管理システム
更新機器仕様書

三高駅西駐車場 料金管理システム 機器更新

1 概要

三高駅西駐車場で現在使用中の駐車場料金システム機器について、現在使用中の機器は現指定管理者の持込機器が含まれるため、令和6年3月31日を以って貸借期間が満了することに伴い、賃貸借対象機器を最低限として更新するものとする。

機器を更新する際には、現在同駐車場で使用している回数駐車券、プリペイドカード、定期券を変更することなくそのまま継続して使用可能な機能仕様を有する機器であることとする。ただし、利用者に支障がなく回数駐車券、プリペイドカード、定期券が交換できる場合は券の取替えも可とする。

また、更新するために必要な設置工事及び調整、諸経費等を含むものとし、既存機器の処分については環境に配慮した適正な処分方法で実施すること。

※更新対象となる全自動料金精算機・事前精算機はインボイス対応及び新500円玉硬貨対応とすること。

2 機器構成

更新対象機器

・ 駐車券発行機	1台
・ 全自動料金精算機	1台
・ カーゲート	2台
・ ループ式車両検知器	2台
・ 防犯カメラシステム	一式
・ 事前精算機	2台

既存継続使用品

・ ループコイル	4本
・ 在庫管理盤	1台
・ 満空車表示灯	1台
・ 出庫警報灯	1台
・ 基礎	一式
・ 配管、配線	一式

駐車券発行機
仕 様 書

1 概 要

- (1) 駐車場入口に設置し利用者に対し駐車券を発行します。車路に埋設されたループコイルが車両を感知した状態で、押ボタン操作により駐車券を発行する。
- (2) 駐車券発行時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送（満車時は満車案内放送）を行うものとする。また、案内放送は駐車券抜き取り又は設定回数終了後に自動的に停止する。
- (3) 駐車券は磁気ストライプ紙を使用し、機械番号・入場番号・料金種別・入場年月日時分が印字させる。
- (4) 定期券読取りによる定期車両の入場管理を可能とする。（長手4方向読取可能）
- (5) カーゲートと連動し、駐車場入口の無人制御を行うものとする。
- (6) 駐車券発行後、券を抜き取らずに車両が後退した場合は発行された駐車券を本体内に取込むものとする。（廃券処理）

2 定 格

- (1) 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- (2) 消 費 電 力 41W (ヒーター作動時 345W)
- (3) 質 量 約 85kg
- (4) 塗 装 色 標準色日塗工 F19-75X 近似色 (黄色)
- (5) 材 質 外装ケース：2.0 mm鋼板製、ベース：6.0 mm山形鋼製
- (6) 形 状 自立型防雨構造
- (7) 時 計 方 式 水晶発振方式 週差±3 秒以内 (20℃～30℃以内)
- (8) メモリーバックアップ 時計データ及びデータの記憶に対して累計3年間
- (9) 使用周囲温湿度 -10℃～40℃、10%～90%RH (結露なき事)
(ヒーター付 -25℃～40℃)
- (10) 据 付 4-M12 のアンカーボルトにより底面を固定

3 仕 様

- (1) 発 券 方 法 押ボタン
- (2) 駐 車 券 ファンホールド式磁気ストライプ紙
幅 54mm×長さ 85.7mm/枚
7000 枚 (3500 枚×2 パック) 収納可能

- | | |
|------------|--|
| (3) 定期券 | PET材 (アマノバイナリカード) 幅 54mm×長 85.7mm/枚
基本・拡張 1~3 を合わせて 12000 件登録可能 (種別 15 種分類可能) |
| (4) 印字内容 | 機械番号 (1~20)・入場番号 (5桁)・料金種別 (A~L)
入場年月日時分 (機械番号、料金種別は設定で印字を選択) |
| (5) 印字機構 | 9×7 ドットマトリクスプリンター
インクリボンカセット方式 (リボン色 黒) |
| (6) 案内表示 | 時計表示・操作案内 等 (バックライト付モノクロLCD表示器) |
| (7) 発行速度 | 1.3 秒 |
| (8) 廃券処理 | 本体内部自動収納 (収納枚数 約 200 枚) |
| (9) 警報出力信号 | 無電圧接点、チケット切れ (2 パックのどちらか無くなった場合に出力) |
| (10) その他 | 手順案内音声装置内蔵 |

全自動料金精算機
仕 様 書

1 概 要

- (1) 駐車場出口に設置し利用者に対し駐車料金の精算を行う。車路に埋設されたループコイルが車両を感知して精算が可能な状態とする。
- (2) 精算時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送を行う。
- (3) 駐車券投入口に駐車券を差し込むと表示と音声で駐車料金を告知する。支払いは硬貨（10・50・100・500円）または千円・二千円紙幣で精算可能とする。その他回数駐車券、プリペイドカードでの精算も可能とする。
- (4) 定期券読取りによる定期車両の出場管理が可能とする。
- (5) 出庫完了までに該当釦を押すことにより領収証を発行することができる。
- (6) カーゲートと連動し、駐車場出口の無人制御を行う。
- (7) 精算記録及び集計記録はジャーナルプリンターに記録するものとする。
- (8) 金銭管理機能により案内表示器に現在の金種毎の保有枚数が表示できる。また、扉を開けずにつり銭の補充を可能とする。
- (9) 自動、手動、半自動、精算無し精算を可能とする。

2 定 格

- (1) 電 源 AC100V±10%、50/60Hz（D種接地）
- (2) 消 費 電 力 348W
- (3) 消 費 電 流 6.9A
- (4) 質 量 約 274kg
- (5) 塗 装 色 標準色：日塗工 F19-75X 近似色（黄色）
- (6) 材 質 外装ケース：2.0mm鋼板製、ベース：6.0mm鋼板製
- (7) 形 状 自立型防雨構造
- (8) 時 計 方 式 水晶発振方式 週差±3秒以内（20℃～30℃以内）
停電補償：内蔵バッテリーで累計3年間
- (9) 使用周囲温湿度 -10℃～40℃、10%～90%RH（結露なき事）
- (10) 据 付 4-M12のアンカーボルトにより底面を固定

3 仕 様

- (1) カード読取方式 磁気ストライプ読取方式（長手4方向読取可能）
ただし、プリペイドカードは2方向
- (2) 案内表示 料金表示（駐車料金、投入金額、残金額、釣り額）、時計表示、
操作手順 等（LEDバックライト付 12.1 インチ透過型 TFTカラー液晶表示器）
- (3) 操作ボタン とりけし、駐車券紛失、領収証発行
- (4) 演算機能
- ・計算日数 12ヶ月
 - ・計算単位時間 1分単位、最大9時間59分
 - ・計算単位料金 10円単位、最大999990円
 - ・車種区分 12種
 - ・料金体系 3体系
 - ・料金帯区分 昼夜帯方式 最大6区分、通減帯方式 最大12パターン
 - ・サービスタイム 0～720分、1分単位
 - ・グレースタイム 0～120分、1分単位（おまけ時間）
 - ・ラグタイム 0～120分、1分単位（事前精算機使用）
 - ・最大料金の設定 6・12・24時間最大または時刻指定毎最大のうちから選択及び
絶対最大（最大料金の設定は10円単位で設定）
 - ・駐車券紛失料金 固定料金または指定時刻料金計算のうちから選択
固定料金 10円単位 999990円まで設定可能
指定時刻料金計算 車種（12種）を指定可能
- (5) 領収書発行 出庫完了までに領収証釦を押すと発行
印字方式 サーマルプリンター
1 ロール発行回数 約800回
（標準印字内容 ロゴ印字有、ヘッダー印字無）
領収証上部にビットマップ画像のロゴ印字が可能
ヘッダー印字4行、フッター印字4行まで可能
再発行可能（係員操作による）

- (6) 精算中止 料金投入の途中でとりけし鈕を押すと投入金額を返却
- (7) 使用貨幣 10・50・100・500円硬貨及び千円・二千円紙幣
- (8) 釣銭装置
- ・コインメック 10円(約90枚)、50円(約78枚)、100円(約77枚)、500円(約68枚)
 - ・手動補給筒 10円(約100枚)、100円(約88枚)のうちから選択
 - ・予蓄ホッパー 10円(約480枚)、50円(約510枚)、100円(約490枚)、500円(約330枚)の二金種または同一金種×2から選択
- (9) 金庫収納方式 硬貨 鍵付き金庫(約2000枚・すべて100円硬貨の場合)
紙幣 鍵付き金庫に整列収納(約600枚・官封券換算)
- (10) 廃券枚数 約3000枚
- (11) 営業記録 金庫抜取り(金庫合計)、管理カード使用・その他キー操作により任意に領収証用紙に印字・発行
- (12) 集計項目
- ・売上集計 総現金売上額、総掛売額、総売上額、総精算回数、総出庫回数(印字のみ)、紛失精算回数、紛失精算現金売上額、料金種別毎精算回数・現金領収額、種別時間割引回数・金額、プリペイドカード(回数券)使用回数・金額、回数券種別毎精算回数・金額、定期種別毎使用回数、領収証発行回数、サービスタイム内精算回数、ラグタイム内出庫台数、強制アンチパスOFF精算回数、手動精算回数、支払不足回数・金額、金庫総入金額、紙幣金庫入金額、コイン金庫入金額、金銭データ、精算中止回数・精算中止現金売上額、釣銭払戻額等を設定により任意選択及び集計
 - ・駐車分類集計 ①駐車時間別台数集計、②駐車時間別台数・料金集計、③駐車料金別台数集計、④駐車料金別台数・料金集計、⑤入車時刻別精算台数集計、⑥精算時刻別精算台数集計、⑦入車・精算時刻別精算台数集計、⑧出庫時刻別精算台数集計、⑨入庫、出庫時刻別精算台数集計、⑩精算時刻別精算台数・料金集計より1種選択(全ての分類集計48分類)

- (13) 定期券 PET材 (アマノバイナリーカード)、幅 54 mm×長 85.7 mm/枚
基本・拡張 1~3 を合わせて 12000 件登録可能 (種別 15 種分類可能)
- (14) プリペイドカード 設定金額 10~61000 円 (使用毎に残り金額を書換えて返却)
使用度数 (7 段階) をマークプリント (回数券との併用運用不可)
- (15) 回数券 1 度数設定金額 10~9990 円または無料 (プリペイドカードとの併用運用不可)
- (16) 外部出力信号 8 出力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
ゲート開・ゲート閉 (カーゲート連動時には必須)、精算完了、釣銭切れ・予告、レシート切れ・予告、トラブル、ドア警報 (該当キーを解除せずに左扉を開いた場合に出力)、金庫満杯、満車等
- (17) 外部入力信号 3 入力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
ゲート閉状態 (カーゲート連動時には必須)、ゲートバー折れ、車種切換、強制休業、強制営業、外部ゲート開閉 等
- (18) 管理カード 小計カード、補充カード、自動棚卸カード、係員カード 等
- (19) その他
- ・手順案内音声装置内蔵 (時間帯自動音量調整可能)
 - ・連絡用インターホン子機取付
 - ・特別日 (年間 31 日) と特別期間 (年間 3 期間) が設定可能
 - ・ハッピーマンデー、春分・秋分の日対応
 - ・インベントリー払出先 (金庫/つり銭取出し口) が選択可能
 - ・駐車券を領収証として発行可能
 - ・係員スイッチを配置 (エラー表示、券データ表示、状態プリント)
 - ・案内表示バックライトは時間帯自動輝度調整可能

事前精算機
仕様書

1 概 要

- (1) 駐車場出口での精算待ち混雑を防止するため、出場の際、乗車前に駐車料金の精算（事前精算）を行うものとする。
- (2) 事前精算を行うと精算済駐車券が利用者に返却される。事前精算した時刻から許可時間（ラグタイム）内であれば、出口では精算済駐車券の投入だけで出場が可能となり、出場精算にかかる時間を短縮することが可能。
- (3) 利用者が精算開始釦を押すことにより、各投入口のシャッターが開いて精算が可能な状態にする。
- (4) 精算時、内蔵された音声合成装置により各過程に合わせて操作を促す案内放送を行う。
- (5) 駐車券投入口に駐車券を差し込むと駐車料金を計算し表示します。支払いは硬貨（10・50・100・500円）又は千円紙幣で精算できるものとする。その他回数券、プリペイドカードでの精算も可能とする。
- (6) 精算が完了すると、精算時刻を駐車券に印字及び磁気書込みして返却する。
- (7) 該当釦を押すことにより領収証を発行することができる。
- (8) 精算記録及び集計記録はジャーナルプリンターに記録できる。
- (9) 金銭管理機能により案内表示器に現在の金種毎の保有枚数が表示できる。また、扉を開けずにつり銭の補充を可能とする。

2 定 格

- (1) 電 源 AC100V±10%、50/60Hz（D種接地）
- (2) 消 費 電 力 47W
- (3) 質 量 約 140kg
- (4) 塗 装 色 標準色：日塗工 F19-75X 近似色（黄色）
- (5) 材 質 外装ケース：2.0mm鋼板製、ベース：6.0mm山形鋼製
- (6) 形 状 自立型防雨構造
- (7) 時 計 方 式 水晶発振方式 週差±3秒以内（20℃～30℃以内）
停電補償：内蔵バッテリーで累計3年間
- (8) 使用周囲温湿度 -10℃～40℃、10%～90%RH（結露なき事）
- (9) 据 付 4-M12のアンカーボルトにより底面を固定

3 仕 様

- (1) カード読取方式 磁気ストライプ読取方式（長手4方向読取可能）
ただし、プリペイドカードは2方向
- (2) 案内表示 料金表示（駐車料金、投入金額、残金額）、時計表示、操作手順（等）バックライト付半透過型F-S-T-N液晶表示器
- (3) 操作ボタン とりけし、精算開始、領収証発行
- (4) 演算機能
- ・計算日数 12ヶ月
 - ・計算単位時間 1分単位、最大9時間59分
 - ・計算単位料金 10円単位、最大99990円
 - ・車種区分 12種
 - ・料金体系 3体系
 - ・料金帯区分 昼夜帯方式 最大6区分
通減帯方式 最大12パターン
 - ・サービスタイム 0～720分、1分単位
 - ・グレースタイム 0～120分、1分単位（おまけ時間）
 - ・ラグタイム 0～120分、1分単位（事前精算機使用）
 - ・最大料金の設定 6・12・24時間最大または時刻指定毎最大の選択と絶対最大
（最大料金の設定は10円単位）
- (5) 領収証発行 領収証釦を押すと発行
- (6) 精算中止 料金投入の途中でとりけし釦を押すと投入金額を返却
- (7) 使用貨幣 10・50・100・500円硬貨及び千円紙幣
- (8) 釣銭装置
- ・コインメック 10円（約90枚）、50円（約78枚）、100円（約77枚）、
500円（約68枚）
 - ・手動補給筒 10円（約100枚）／100円（約88枚）のうちから選択
 - ・予蓄カセット 10円（約500枚）／100円（約450枚）のうちから選択
- (9) 金庫収納方式 硬貨 オープン型ボックス（約2000枚・すべて100円硬貨の場合）
紙幣 紙幣リーダーのスタッカーに整列収納（約450枚・千円札）

- (10) 営業記録 金庫抜取り (T合計)
その他キー操作により任意に領収証用紙に印字・発行
- (11) 廃券枚数 約 1500 枚
- (12) 集計項目
・売上集計 総現金売上額、総掛売額、総売上額、総税金額、総精算回数、料金種別毎精算回数・現金領収額、プリペイドカード (回数券) 使用回数・金額、領収証発行回数、サービスタイム内精算回数、金庫総入金額、紙幣金庫入金額、コイン金庫入金額、金銭データ等を設定により選択し、T、GT、前回T、前回GT
・駐車分類集計 ①駐車時間別台数集計、②駐車時間別台数、③料金集計、④駐車料金別台数集計、⑤駐車料金別台数・料金集計、⑥駐車時刻別精算台数集計、⑦精算時刻別精算台数集計、⑧入車・精算時刻別精算台数集計 より 1 種選択 (すべての分類集計 48 分類)
- (13) プリペイドカード 設定金額 10~61000 円 (使用毎に残り金額を書換えて返却)
使用度数 (7 段階) をマークプリント (回数券との併用運用不可)
- (14) 回数券 1 度数設定金額 10~9990 円または無料 (プリペイドカードとの併用運用不可)
- (15) 外部出力信号 8 出力 (無電圧接点) 以下の信号により任意選択可能
釣銭切れ・予告、レシート切れ・予告、トラブル、ドア警報 (該当キーを解除せずに左扉を開いた場合に出力)、金庫満杯
- (16) 外部入力信号 3 入力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
車種切換、強制休業、強制営業
- (17) その他
・手順案内音声装置内蔵
・連絡用インターホン子機取付
・特別日 (年間 31 日) と特別期間 (年間 3 期間) が設定可能
ハッピーマンデー、春分・秋分の日対応

カーゲート(折曲式)
仕 様 書

1 概 要

- (1) 車路を遮断するように設置し車両通行の規制を行います。外部からの信号または車路に埋設されたループコイルによる車両検知でゲートバーを開閉させる。
- (2) 内部のスイッチ操作によりゲートバーを開閉させることができる。
- (3) 停電時は手動開閉ノブの操作によりゲートバーを開閉させることができる。
- (4) ゲートバーは衝撃を緩和するクッション材を巻いたバーを使用する。
- (5) 動作カウンターを内蔵し、開閉動作回数がカウンターに表示されメンテナンス等の目安とすることができる。

2 定 格

- (1) 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- (2) 消 費 電 流 1.9A (76W)
- (3) 質 量 約 75kg
- (4) 塗 装 色 標 準 色 : 日塗工 F19-75X 近似色 (黄色)
- (5) 材 質 外装ケース 2.0 mm鋼板製、ベース 4.5 mm鋼板製
ゲートバー グラスファイバー (元径 φ 50 mm 先端径 φ 35 mm)
クッション材 (PE フォーム t3.0 mm)
- (6) 形 状 自立型防雨構造
- (7) 使用周囲温湿度 -10℃~40℃、10%~90%RH (結露なき事)
- (8) 据 付 4-M12 のアンカーボルトにより底面を固定

3 仕 様

- (1) ゲートバー 形 状 中折れ式
外 観 色 調 白/赤ストライプ
有 効 長 さ 4000 mm
最大有効車路幅 約 3650 mm
閉時バー中心高さ 約 926 mm (基礎高含まず)
開時バー最大高さ 約 2484 mm (基礎高含まず)
開時バー下端高さ 約 2348 mm (基礎高含まず)
- (2) バー 動 作 開閉速度 2.0 秒以下、上昇角度 90°
- (3) 外部出力信号 無電圧接点、入出場警報 (最大 99 秒設定可能・バー開時ON、閉後タイマー経過によりOFF)、ゲート閉状態信号
- (4) そ の 他 バー下降時セーフティセンサ (超音波式) 付 (センサ感知によりバーをオートリバース)

ループ式車両検知器(2ch)
仕 様 書

1 概 要

- (1) 所定の方法で埋設されたループコイル上を車両が通過・移動した場合、金属部分がインダクタンスに影響を与える性質を利用し、ループ発振回路でインダクタンスの影響に対する高周波信号の変化をとらえ、予め設定しておいた車両感知レベルとの変化量を比較して、車両の存在認識を行うものとする。
- (2) ループ発振回路・信号増幅回路・演算制御回路・感度設定回路及び出力回路により、車両の存在をリレー・メイク接点で出力する。
- (3) ループコイルを2面接続することが可能とする。

2 定 格

- (1) 電 源 DC12～24V (リップル 1Vp-P)
- (2) 消 費 電 流 0.1A
- (3) 質 量 約 0.5kg
- (4) 材 質 外装ケース 樹脂製、フレーム 1.6 mm鋼板製
- (5) 形 状 盤内収納型
- (6) 使用周囲温湿度 $-10^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ 、10%～90%RH (結露なき事)

3 仕 様

- (1) 感 知 対 象 四輪軽自動車以上の一般乗用車
- (2) 感 知 方 式 ループコイル・インダクタンス変化検出方式
- (3) 感 知 動 作 プレゼンスモード／パルス
- (4) 車両感知可能速度 時速 2km～56km(ループコイル上に 0.1 秒以上位置すること。)
- (5) コイル駆動周波数 約 16Khz～45kHz
- (6) 感 度 設 定 ディップスイッチ及びデジタルスイッチ
- (7) ループ接続数 2面
- (8) 接 点 出 力 無電圧C接点 2回路×2

防犯カメラシステム
仕 様 書

1 概 要

高浜市防犯カメラの管理及び運用に関する要綱に準拠し、適切な運用を行うこと。

2 仕 様 (仕様 to 定める同等品以上のもの)

画面サイズ	30型以上 (対角 76cm 以上)
視野角	水平、垂直 170度
画面輝度	250cd/m ²
画素ピッチ	水平 0.511mm、垂直 0.511mm
コントラスト比	900 : 1
電 源	AC100V
消費電力	200W以下
入力端子	S映像 (DVI-D / ミニD-SUB15ピン)、RCAピン
本体外形	約 80cm × 約 10cm (モニター部のみ)
本体重量	約 16kg
固定式高感度カメラ	6台 (三菱CIT-8000)
バリアフォーカルレンズ	6台 (三菱TG2813FCS-3)
屋内型カメラケース	6台 (三菱B-2100)
デジタルレコーダ	1台 (三菱DX-TL2500)